

25PA-am006

カンナビノイド受容体アゴニスト活性を有するフェルギネン B の全合成

○加藤 友哉¹, 成田 紘一¹, 加藤 正¹ (¹東北医薬大)

【目的】*Rhododendron ferrugienm* から単離・構造決定されたフェルギネン B (1) はカンナビノイド受容体に親和性を有することが報告されている。我々は、1 のヘキサヒドロジベンゾフラン骨格に興味を持ち、その全合成研究に着手した。

【方法・結果】ジエン体 2 と 5-メチルレゾルシノール 3 とのカップリング反応を行った後、エポキシ化、続く分子内エーテル環化反応を経て、三環性骨格を構築し、化合物 4 を得た。次いで、得られた 4 に対して trioxane 存在下、MAPH を作用させることでヒドロキシメチル基を導入し、5 を合成した。最後に、ヒドロキシメチル基を足掛りとして側鎖伸長を行い、フェルギネン B (1) の最初の全合成を達成した。

